

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾  
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20  
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2018年  
4月号

Mathematics Abacus Chinese character

# MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

## 「育脳トライアル」ってどんな教材?? ～実は感想文もとっても重要なんですよ～



4月に入りいよいよ新学年のスタートですね。みんな期待と不安に胸躍らせていることだと思います。

MACもこの春に多くの仲間たちが入塾してくれました。特に新小学1年生は3月から来てくれている子も多いので、やっと塾にも慣れ「自学自習」のスタートラインに立っているのではないのでしょうか?4月スタートのみんなは今から一緒に頑張ろう (^\_^)

新しい仲間が増えたこの時期、良い機会ですのでMACで使用している教材のこと、なぜ毎回感想文を書いて頂いているかなど、再度ここでまとめてみようと思います。

この春に入塾された方はMACについて理解を深めて頂き、入塾して何年も経つ方は再確認の機会にして頂ければと思います。

一つ言えることは、「感想文を書く時のお母さんの対応」がお子さんを勉強好きにさせるか否かを決めるのですよ～ (こう言われるとプレッシャーですよネ・笑)

# 育脳トライアルに取り組むとどうなるの??

ほぼ月に1冊のペースで取り組んでもらっている育脳トライアルですが、子どもたちに一番人気の教材です。人気の秘密は何なのか・・・？それは、『答えが一つではない問題が多い』からです。

いきなりですが問題です。あなたはこの問いに対してどんな答えを出されますか？

● 事物・事象に対する知識  
● 属性関係の把握  
● 自由な発想と多面的着眼





1405  
育脳トライアルプリント  
なかま  
**仲間はずれ**

3 分 秒  
3 分 間

正答数  
5 問

なかま  
仲間はずれはどれでしょう？

① ア イ ウ エ

解答例で言うと、

ア・・・食べる時に使わない。      イ・・・これだけ先が分かれている  
エ・・・これだけ二本                      エ・・・これだけ刺したり切ったりではなくつまむもの  
エ・・・これだけ木で、他は鉄の部分がある      その他も多数ありますよ！！

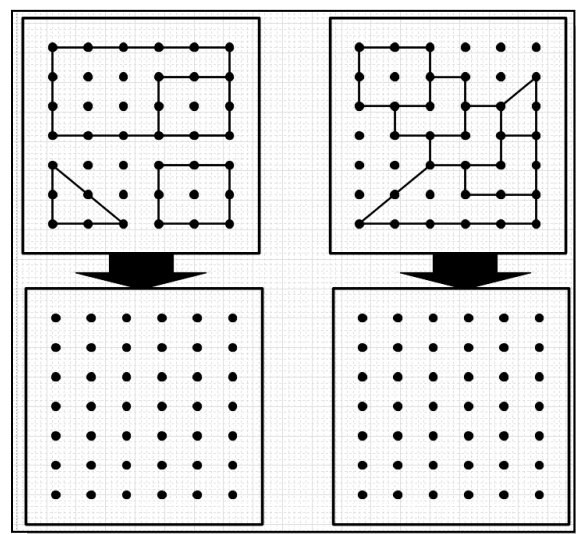
つまり、考え方（定義の仕方）によって様々な解答になるのです。学校のテストでは答えは「ひとつ」なので○か×で採点され、「なぜその答えにしたの??」ということ聞かれることはほぼありません。MACでは低学年の間からこのような問題に取り組むことによって、楽しみながら思考力を鍛えているのです。（自分なりの考えで答えを出して○をもらえるので、子どもたちは楽しいのです）

これからの時代は「知識」だけではなく「知恵」のある子でなければ生きていけません。低学年のうちから様々な側面から物事を見る訓練に取り組んでおけば、固定概念ではなく柔軟な視点を持った子に育つのです。（丸つけをしていると本当に感心させられる解答が多く、日々楽しませてもらっています）

## 「点描写」は何のために描いているの・・・？

育脳トライアルには2ページごとに「点描写」のページがあります。恐らく『これは何のために取り組んでいるのだろう・・・？』と感じている方が多いと思います。点描写は空間認知能という領域のトレーニングになります。

空間認知能とはその名の通り、空間を認知する領域なので、教科で言えば算数・数学の図形問題や空間問題に強くなりますし、日常生活でも「時間の感覚」や「段取りを立てて、その通りに物事を進めていくこと」もこの空間認知能が関係してきます。



「悪気が無いけど時間にルーズ・・・」「学歴はあるのに仕事が出来ない・・・」

という人がもし思い浮かんだとしたら、その人は空間認知能が低い可能性があります。

## 国立大学合格者が、「やってて良かった、トライアル！」

国立大学に現役合格したある生徒の言葉です。

「僕が国立大学に合格出来たのは育脳トライアルのお陰だと思っています。育脳トライアルに取り組んだことで『ものの見方は一つではない』ということ学びました。その考え方が、勉強の仕方に良い影響を与えてくれました。」

と嬉しいことを言ってくれました。

MACでは成績も良くなるよう指導するのは当然ですが、それ以上に社会に出てから困らないよう、「考える力」「自ら行動する力」を育みたいと考えています。そういった理由から、目の前の勉強が難しくなる前の幼児～小学校低学年の間に入塾頂いているの

です。

## なぜ親にまで「感想文」を書かせるの！？

MACでは育脳トライアルが終わる度に生徒本人、親御さん共に感想文を書いて頂いています。その提出がないと次の一冊をもらえないばかりか「忘れ物」扱いとなり、授業が受けられません。

正直「なぜ親が感想文を書かないといけないの??」と思われた、もしくは今もそう思われている親御さんが多いのではと思います。特にお子さんが複数人 MAC に通っている親御さんからすると大変な労力だということは理解しています。

なぜ親まで感想文を書く必要があるのか??その理由は大きく2点あります。

### ①「お子さんの学習意欲向上の為」

育脳トライアルは月間教材となっているので、ほぼひと月に1冊のペースで進みます。お子さん本人からすれば、ひと月かけて一冊のテキストをやり終える事は非常に大きな達成感・満足感を得ることができます。さらに親がそのテキストを見てくれて、感想まで書いてくれれば「よし、次も頑張ろう！もっとたくさん〇をもらえるようにしよう」と、学習意欲が増すのです。親が感想文を書いてくれる＝ちゃんと自分の事を見てもらっているという安心感から、良い学習習慣を身に付けられるようになります。

### ②「わが子の成長を把握して頂く為」

「うわ～、うちの子この問題に対してこんな答え書くんだと、子どもの内面を垣間見た気がしました。」という感想文を頂いた事がありました。

子どもたちは日々成長しています。毎月、毎月子どもたちの解き終えた育脳トライアルを見ていると、日々の成長がはっきり見えてきます。書く文字、思考力、発想力などなど。このちょっとずつの成長をしっかりと感じ、見守ってあげて欲しいのです。

大人はどうしても目に見えて分かる結果（テストや成績など数字で表せるもの）を求

めがちです。しかし、子どもたちの「ぐっと伸びる時期」は本当に様々です。小学校中学年くらいで一気にお兄さんお姉さんになったなという子もいれば、高学年で急に勉強ができるようになったな・・という子も、中学に入ってある時期から一気に成績が上がった・・など10人いたら10通りなのです。

すぐに結果が出ていないからといって、今取り組んでいることを否定しないようにして下さい。親がそうすると子どもは根気強くひとつの事に取り組めなくなります。

すぐに役立つことは、すぐに役立たなくなる

これは伝説の教師と言われている灘高の橋本武先生の言葉です。今はインターネットによって、たいていの知識は検索ですぐに得られる時代になっています。こういう時代に大事なことは、効率的にたくさんの知識を詰め込むことではなく、少しでも興味、関心があったら横道にそれて、自分で調べ、自分で考え、理解し、その知識を自分の行動に役立てていくことだと思います。

そうして得た知識、知恵、経験といったばらばらの点だったものが次第に繋がって、線になり、面になり、確実な自分の力になっていくのだと思います。つまり、将来的に本当に役に立つ力はすぐには身に付かないし、なかなか目にも見えにくいものなのです。

今の子どもたちはまさにその作業の真っ最中です。すぐに結果を求めるのではなく、長い目で見守ってあげて下さいね。

## 感想文を書く時のお願い

さて、冒頭の「感想文を書く時のお母さんの対応」の件ですが・・。

我が子に感想文を頼まれた時、どのようなリアクションをされていますか？

「よし、じゃあ一緒に見返そうか？ どうしてそんな答えになったか教えて！」

というようなやり取りでしょうか？ はたまた、

「え、また～？面倒臭いなあ。後で書いておくからそこに置いておいて」でしょうか・・・。

提出頂いている感想文は必ず全てに目を通しています。気になることが書かれている場合は、裏面にお手紙を書いてこちらの意見をお伝えすることもあります。（正直感想文を読ませて頂いていると、どのようなやり取りをされているか、だいたい見えてきます・・・）

感想文を親に頼む際のお子さんの気持ちになってみてください。

もし後者のような対応の場合、自分がひと月頑張ってきたことを否定された気になり、別に次の一冊もじっくり見てもらえないだろうから、適当にしておこう・・・とならないでしょうか？前者の場合と後者の場合、どちらの方が「子どもを勉強好きにさせる対応」であるかは明らかですよ。

1週間を分に直すと10,080分になります。その中MACに来てもらっている時間は90～180分程度です。その時間だけで子どもを勉強好きにする魔法はありません。

子どもはお母さんが大好きです。子どもを勉強好きにさせるかどうかは多くの時間を一緒に過ごすお母さんの対応にかかっているのです。ご家庭で勉強を教えて頂く必要はございませんが、感想文を書く際のやり取りは大切にしていきたいと思えます。

一緒に育脳トライアルを見返す際は、答えの間違いを指摘するのではなく、お子さんの説明に感動し、驚いて下さい。そして、その際に大切な事は、お子さんの眼を見て説明を受けて頂く事です。

親御さんは本当に毎日お忙しいことと思います。（私にもおちびちゃんが二人いるので、奥さんには本当に頭が下がります・・・）しかしお子さんを勉強好きにするため、月に5～10分程度の時間です。ぜひこの感想文を書く時間が「苦痛」ではなく、こどもと共通の話題で話が出る「至福」の時間にして頂きたいのです。

感想文を書く時間がお母さんにとって「至福」の時間になった時が、子どもが勉強好きになる時です。この一年もMACとご家庭の二人三脚でお子さんを育てていきましょう。

# すぐに「結果」を求めすぎではいませんか？

みなさんは日頃から、粘り強く取り組むことができますか？  
何事もすぐには結果や成果がでません。「続けること」が大切なのです。

## 自分で調べて見つけたことは、一生の財産

伝説の教師と呼ばれた橋本武先生は「灘校を東大合格者数日本一に導いた」「100歳でまだ教壇に立っている」など、数々の偉業を成し遂げられました。授業では教科書を使用せず、小説の「銀の匙」を3年かけて読み込むというユニークな授業をされたそうです。橋本先生は、

「分からない事はインターネットですぐ調べられる時代に大切なのは、効率良く知識を詰め込むよりも、自分で調べ、考え、理解し、その知識を自分の行動に役立てていくことだと思います。

すぐに役立つことはすぐに役立たなくなります。つまり将来的に本当に役立つ力はすぐには身につかないし、目にも見えにくいものなのです。」

と、仰っていました。みなさんも勉強やその他様々なことを頑張っていると、すぐに結果がでなくても、じっくり、気長に取り組んで、将来的に本当に役立つ力を身につけましょう。



偉人の名言

## 「すぐ役立つことは、すぐ役立たなくなる

橋本武 ～伝説の教師と呼ばれた灘校の先生～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。